

平成 30 年秋期 釜利谷地区推進連絡会

- 1 日時
平成 30 年 10 月 1 日（月） 17 : 00 ~ 19 : 00
- 2 場所
釜利谷地区センター
- 3 参加者
(地域側) 自治会等地域団体関係 22名
学校関係 (釜利谷中) 1名
(支援チーム、その他行政側)
区役所 14名
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ 11名
消防 1名
- 4 住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らし続けるために
【説明者 金沢区長】
- 5 第 3 期釜利谷地区地域福祉保健計画の平成 30 年度上半期振り返り
【部会別報告】
- 6 意見交換
(1) テーマ
高齢者の暮らしのために
(2) 取組発表
①地域交流処「禅」
②西金沢地域ケアプラザ「高齢者支援事業 新鮮朝市」「だれでもカレー」
(3) グループごとの意見交換
地域の方々と支援チームが 6 グループに分かれ、上記テーマについて
・各団体の取り組み内容を聞いた感想や地域の実態
・困っていること、取り組みたいこと
などを意見交換し、うち 2 グループが代表で、出された意見を発表しました。

【主なご意見】
➤色々と行事をやっているが、参加者が少ない。メンバーが固定化している。
➤世代交代できない。新たな人材 (担い手) の不足。

➤サロンに来るのは女性ばかりで、男性は来ても 1 回きり。

- イベントなどの運営スタッフにも男性は少ない。
- 女性は一度出ていくと、そこから色々な所に広がっていくが、男性は広がらない傾向にある。
- 男性は地域に仲間が少ない。女性の方が地域に出ることが多く、慣れている。
- 「お茶を飲んで話をする」というのは男性には向かないのでは。男性は、趣味や勉強がテーマだと集まりやすいように思われる。
- 何か役割があったり、(たとえば) 将棋や囲碁の会だと男性も参加しやすい。
- *****
- 町内にお店(小売店)が無くなった。イオンバス、京急ストアのバスが通っているが、利用者が多く満員である。
- 地域によっては、「公園が無い」、「町内会館まで行きづらい」など、活動場所の問題がある。
- *****
- 高齢者を助ける「おたすけ隊」があると、助かる高齢者がいる。助ける人もまた高齢者なのだが、ボランティア活動をすることによって、元気でいられるし、草刈り、換気扇の掃除などでは男性の力が活かされる。
- 地域活動に参加してもらえるように、活動団体を紹介する冊子を作成し、希望者に配布している。住んでいても知らないことがあるし、外へ出るきっかけになる。
- まずは、挨拶することで顔がつながり、人への興味が広がるが、一方、こどもは知らない人と口をきかないように教えられている。挨拶する関係性を築くのも難しくなっている。
- つながりを持ちたくない訳ではないと思うので、挨拶から話す習慣をつくる。
- 集まりの場で自分の経験をスピーチしてみてもどうだろうか。
- 独自のホームページを持っている自治会・町内会があり、ホームページ情報交換会を開催している。
- 課題は共通することが多い。エリアを越えた活動や情報交換ができればよい。